

平成25年度 清原北小学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が計画，網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童像含む）

「人間尊重の教育」を基盤に，自ら考え正しく判断し，豊かな心をもってたくましく生きる児童を育成する。

【考え深く】

【こころ豊かで】

【たくましく】

活用期 ○ 自ら考え工夫する子 ○ こころ豊かで思いやりのある子 ○ 気力と体力のあるたくましい子
基礎期 ○ 自分で考え学習する子 ○ 親切で思いやりのある子 ○ 元気でがんばる子

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

『小規模特認校として，保護者や地域から信頼され協力し合いながら，夢と理想をもって共に成長していく学校』
・児童一人ひとりが目当てをもって，生き生きと学習や活動に取り組み，成就感や達成感を味わうことのできる学校
・児童のよさや個性が発揮でき，お互いに認め合い，励まし合いながら伸びていこうとする気風が満ちている学校
・児童自らが，体力・健康・食を関連付けた望ましい生活習慣を身に付け，気力と体力が充実している学校

3 学校経営の方針（中期的視点） ※地域学校園内で共通する方針は，文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- ① 小規模特認校として，学校・家庭・地域が互いに連携し信頼関係を深め，小中一貫教育の基本方針により学校力を高める。
- ② 個に応じたきめ細かな指導により，基礎学力の定着を図る。
- ③ 児童と達成感や成就感を共有し合うことにより，「学ぼうとする力」を育成する。
- ④ 課題解決や目標達成のための資質・能力「自己実現力」を育成する
- ⑤ 認め合い，励まし合い，協力し合える豊かな人間関係を構築し，「よりよく生きようとする力」を育成する。
- ⑥ 体力・健康・食に関する望ましい生活習慣を構築し，心身共に「健康的な生活を創ろうとする力」を育成する。
- ⑦ 専門職として自己研修に努め，教科・学級・学校経営の適正化を図り，協働性を高める。

4 今年度の重点目標（短期的視点） ※地域学校園内で共通する目標は，文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

【学 校 運 営】

- ・小規模特認校9年目となり，基礎学力の充実を図り地域でよりよく生きようとする児童の育成を目指すことにより，保護者や地域との信頼・協力関係の向上を図る。

【学 習 指 導】

- ・進んで他者と関わりながら会話を楽しもうとする児童の育成

【道徳教育（児童生徒指導）】

- ・基本的な生活態度を身に付け，善悪の区別ができる規範意識をもった児童の育成

【健康（保険安全・食育）・体力】

- ・体力・健康・食を関連付けた望ましい生活習慣をもった児童の育成

5 自己評価（評価項目のAは市共通，Bは学校独自を示す。）

※地域学校園内で共通する取組は，文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には，A拡充 B継続 C縮小・廃止，を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
学校運営の状況	A1 学校全体に活気があり，明るくいいきとした雰囲気である。 【数値指標】 A1対応共通アンケートにおける肯定的回答80%以上	○ 学び方の指導，学びの記録の充実，教育相談及び保護者との懇談の工夫により，主体的で前向きな学習習慣及び学習意欲の向上を図る。	B	【達成状況】児童の肯定的回答 95.8% 保護者の肯定的回答95.0% 【次年度の方針】 学校と保護者との連携が，前向きで建設的なものであることが重要であり，児童送迎時などのあらゆる機会を通してコミュニケーションを強化していく。

A2 教職員は協力し、児童のよいところを認め、教えるべきことを熱心に指導している。 【数値指標】 A2 対応共通アンケートにおける肯定的回答80%以上	○ 学校及び学級経営の課題の明確化、共有化を図り、組織的・継続的に教育課程を実践する。	【達成状況】児童の肯定的回答 94.2% 保護者の肯定的回答96.6% 【次年度の方針】 個々の学級経営に差があるため、総体としての学校力が生かせない実態があり、各担任・全職員が、児童・保護者の気持ちを受け止めながら学級経営の充実を図る。
A3 児童は、授業と生活のきまりやマナーを守って生活している。 【数値指標】 A3 対応共通アンケートにおける肯定的回答80%以上	○ <u>日常的な学級経営を中心に、「清原っ子の約束」を自校化するなど効果的に活用し、規則・規範意識の向上や、その行動化の目標を設定しながら、児童指導の強化を図る。</u>	【達成状況】児童の肯定的回答 83.3% 保護者の肯定的回答93.2% 【次年度の方針】 <u>基本的な生活習慣定着のため、学級を核として他学年との関連、保護者の理解・協力・連携を強化するとともに、全校道徳等の実施により全児童が同じ価値観を共有しながら、規範意識の向上を図っていく。</u>
A4 教職員は、分かりやすい授業や一人一人へのきめ細かな指導をしている。 【数値指標】 A4 対応共通アンケートにおける肯定的回答80%以上	○ 学習に対する個人的目標・集団的目標・家庭学習的目標を設定し、継続的に努力する学習環境を充実させる。 ○ <u>従来の国語科、算数・数学科、会話科に加えて、理科、音楽、体育においても小中が連携し、授業改善に取り組む。</u>	【達成状況】児童の肯定的回答 94.2% 保護者の肯定的回答87.3% 【次年度の方針】 児童の実態把握が基本であり、実態を他教員・保護者と共有し、児童の実態をもとに学級及び児童各個人の適切な目標を設定しながら学力向上に努める。また、<u>他教科においても小中連携をさらに推進し、授業改善に生かしていく。</u>
A5 学校の日課・授業・行事などは、適切に実施されている。 【数値指標】 A5 対応共通アンケートにおける肯定的回答80%以上	○ 教師の多忙感、児童の学習疲労の状況を把握し、学校生活のリズムの構築及び行事、分掌の精選に取り組む。	【達成状況】児童の肯定的回答 94.2% 保護者の肯定的回答99.1% 【次年度の方針】 各学校行事実施後の反省や年度末の学校評価等により、実施・運営面での状況把握を的確に行い、実質的に教育効果を高めることができる教育課程の運用に努める。
A6 学校は、学校便りや学校公開などで、積極的に情報を発信・提供している。 【数値指標】 A6 対応共通アンケートにおける肯定的回答80%以上	○ 学校を開いたことにより、顕在化してきた保護者や地域のニーズを具体的な教育活動として実践する。 ○ <u>「清原地域学校園だより」等の発行・配布を通して、小中一貫教育の取り組みを保護者・地域に発信し、理解を促進する。</u>	【達成状況】保護者の肯定的回答95.0% 地域の肯定的回答 100% 【次年度の方針】 保護者や地域のニーズに対する説明責任を果たしながら、連携・協力が図れる双方向的な学校づくりに取り組む。また、<u>今後も「清原地域学校園だより」等の発行・配布により、小中一貫教育の取り組みを保護者・地域に発信する。</u>
A7 学校は、家庭・地域・企業等との連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。 【数値指標】 A7 対応共通アンケートにおける肯定的回答80%以上	○ 地域各実行委員会が企画・運営し、学校の特色ある教育活動となっている「3連携プログラム」の充実を図る。	【達成状況】保護者の肯定的回答95.0% 地域の肯定的回答 100% 【次年度の方針】 学校が地域に期待することを明確にするとともに、保護者・地域が学校に期待することの確に受け止め、教育課程に位置付ける努力を継続する。

教育活動の状況		A8 学校は、清掃が行き届き、荷物や備品などが整理整頓され、学習しやすい環境である。 【数値指標】 A8対応共通アンケートにおける肯定的回答80%以上	○ 児童の学習や生活の場、また、地域が活用できる公共の場としての校舎内外の環境整備に努める。	B	【達成状況】児童の肯定的回答 89.2% 保護者の肯定的回答95.8% 【次年度の方針】 防災対策も含め、児童の安全・安心確保のための施設・設備の修理・修繕や環境整備に努める。
		B1 学校は、地域学校協議会と協力・連携し、教育活動の充実を図っている。 【数値指標】 B1対応学校独自アンケートにおける肯定的回答80%以上	○ 地域学校協議会の活動内容及び運営状況を広く公表し、意見を求めることにより協議会の活性化を図る。	A	【達成状況】保護者の肯定的回答95.7% 地域の肯定的回答 100% 【次年度の方針】 地域学校協議会での協議内容及び活動内容の公開性を強化するとともに、学校経営への参画強化を図る。また、協議会委員による学校関係者評価を次年度の学校運営に確実に反映させる。
	生活	A9 児童は、時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】 A9対応共通アンケートにおける肯定的回答80%以上	○ <u>小中連携した「地域学校園あいさつ運動」を実践し、児童の意識の向上を図る。</u> ○ 児童会や各学年による自発的・自治的な取り組みを促進する。	A	【達成状況】児童の肯定的回答 90.8% 保護者の肯定的回答79.8% 【次年度の方針】 児童への直接的な指導を継続するとともに、<u>保護者や地域（地域学校園）における啓発活動に取り組む</u>。また、児童会や各学年による自発的・自治的な取り組みを促進する。
		A10 児童は、時と場に応じた言葉づかいをしている。 【数値指標】 A10対応共通アンケートにおける肯定的回答80%以上	○ 具体的な言葉の使い方及び言葉を使う心の両面指導を重視し、<u>学校・家庭・地域が連携した継続的な指導を実践する。</u> ○ 学校行事や学級懇談会などを通して、学校から家庭・地域に積極的に働きかけていく。	A	【達成状況】児童の肯定的回答 75.8% 保護者の肯定的回答75.0% 【次年度の方針】 児童への直接的な指導を継続するとともに、<u>保護者や地域（地域学校園）における啓発活動に取り組む</u>。さらに、学校行事や学級懇談会などを通して、学校から家庭・地域に積極的に働きかけていく。
	健康・体力	A11 児童は、休み時間や放課後などに積極的に運動している。 【数値指標】 A11対応共通アンケートにおける肯定的回答80%以上	○ スクスクプランの実践において学級活動や委員会活動など児童の主体的な活動を充実させ、自らの生活を創る力の育成を図る。 ○ 日ごろから運動しやすい場や環境を工夫して設定し、<u>各種検定には、清原地域学校園（小中学校共通のもの）で統一した検定表を効果的に活用する。</u>	A	【達成状況】児童の肯定的回答 82.5% 保護者の肯定的回答88.5% 【次年度の方針】 スクスクプランの実施により、積極的に「食と保健と体力」を結びつけた健康指導を行うとともに、日ごろから運動しやすい場や環境を工夫して設定し、<u>各種検定には、清原地域学校園（小中学校共通のもの）で統一した検定表を効果的に活用する。</u>
		A12 児童は、好き嫌いなく給食を食べている。 【数値指標】 A12対応共通アンケートにおける肯定的回答80%以上	○ <u>地域学校園における「朝食のすすめ」や「お弁当の日」を効果的に活用し、保護者と連携を図った食育を実践することで、保護者の意識向上に努める。</u>	A	【達成状況】児童の肯定的回答 75.0% 保護者の肯定的回答79.2% 【次年度の方針】 偏食を少なくし栄養バランスのとれた食生活ができるよう、通常の給食指導の工夫・強化に取り組むとともに、<u>地域学校園における「朝食のすすめ」や「お弁当の日」を活用しながら保護者の意識向上に努める。</u>

学 習	A13 児童は、授業中に進んで話し合い、分かりやすく発表するなど、積極的に学習している。 【数値指標】 A 1 3 対応共通アンケートにおける肯定的回答 80%以上	○ 絶対評価や相対評価を生かした的確な児童理解、個に応じた指導内容、児童の変化に対応した迅速な指導方法を実践し学力向上を図る。	A	【達成状況】児童の肯定的回答 85.0% 保護者の肯定的回答 93.2% 【次年度の方針】 学年の系統性や関連性を明確にし、継続的な指導を強化するとともに、指導助手やかがやき教室指導員との連携を図りながら、個の実態や個の変化に対応した指導に努める。
	A14 児童は、授業中に先生や友達の話をよく聞くなど、落ち着いて学習している。 【数値指標】 A 1 4 対応共通アンケートにおける肯定的回答 80%以上	○ 基本的な学習習慣の確立や発達段階に応じた基礎的学力の定着を図るため、指導助手や特別支援教室指導員との連携を図りながら、より効果的な個に応じた指導内容や指導方法を工夫する。	A	【達成状況】児童の肯定的回答 86.7% 保護者の肯定的回答 89.6% 【次年度の方針】 今後も、児童の実態（習得状況・興味関心等）を的確に把握し、指導助手やかがやき教室指導員との連携を図りながら、より効果的な指導内容・指導方法の改善に努める。
本 校 の 特 色 ・ 課 題 等	B2 コミュニケーション力の育成を目指し、各教科における表現力の指導や会話科の指導が充実している。 【数値目標】 B 2 学校独自アンケートにおける肯定的回答 80%以上	○ 宇都宮大学と連携し、会話科のカリキュラムの再構築及び他教科、領域との関連を明確にし、統合的・継続的にコミュニケーション力の育成を図る。	A	【達成状況】児童の肯定的回答 93.3% 保護者の肯定的回答 84.2% 【次年度の方針】 より実践的なコミュニケーション力の育成を図るため、宇都宮大学や外部講師との連携を強化するとともに、児童の実態（習得状況・興味関心等）を的確に把握した指導内容・指導方法の改善に努める。

〔総合的な評価〕

※地域学校園内で共通する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所の下線を付ける。

- ・「うつのみや学校マネジメントシステム」学校評価のための全体アンケートにおいて、85%以上の肯定的な回答を得た項目は、児童生徒評価 11/15、保護者評価 12/16、地域住民 16/16、そして、教職員 13/16 であり、全体として児童・保護者・地域・教職員とも学校教育に対する満足度及び達成感が高い。
- ・あいさつの励行や言葉づかい、生活のきまりの徹底、学習習慣や基本的な生活習慣の形成には、児童の実態や学年間の系統性を明確にし、学校・家庭・地域がそれぞれの役割を担いながら、連携して継続的に指導の充実を図っていく必要がある。
- ・満足度や達成感には、学年間に大きな差が認められるため、個々の教職員の指導力（学習指導力・児童指導力・学級経営力）の向上をさらに図っていく必要がある。

6 学校関係者評価

- ・本校は、現在も地域との交流活動も盛んであり、共感を持っている。今後も、更なる向上に向けて地域住民と密着した健全育成を希望する。
- ・学校経営基本方針の「合言葉」等を、これからも大切にしていってほしい。今後も、できるかぎり協力していきたい。
- ・教職員の皆さんは、先進的な取組をしてきた本校の良さに、是非自信を持っていただきたい。
- ・保護者が、本校の会話科等の特色ある授業を参観したり、積極的に授業に参加できるような機会を多く設けたりすると、学校を見る視点が変わってくるのではないだろうか。
- ・地域住民の評価で、学校の実態を十分に把握できていなかったため、評価できない項目もあった。

7 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※地域学校園内で共通する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所の下線を付ける。

- ・小規模特認校としての役割を十分果たしていると一定の評価は受けているが、今後も、学校・保護者・地域の連携を深め、それぞれの役割を明確にして主体的に活動し、成果を上げる仕組みの充実を図っていくことが重要である。
- ・学校・保護者・地域が連携した取り組みが、子どもの成長にどのように寄与しているのか、評価の方法も含めて、子どもの成長を中心とした特色ある学校づくりを進めていくことが重要である。
- ・保護者や地域住民にとって評価が難しい項目については、学校の現状や児童の実態を知ってもらうための機会を、年間を通して意図的・計画的に設定するなどの工夫が必要である。

